

～ Serving the Community and Supporting the YMCA since 1976 ～



埼玉ワイズメンズクラブ

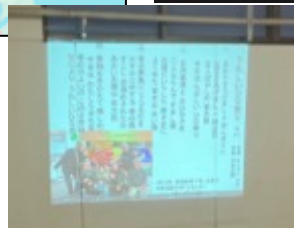
Saitama Y's Men's Club

月間テーマ：Time of Fast & Offerings

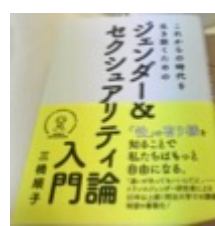
2024年
2月



2023-24 年度 クラブテーマ「地域と繋がろう・地域に知らせよう」



1月27日は川越・所沢の両Y'sとフィリピンのパンガシナンY'sのオンライン交流会。埼玉Y's有志も参加。1月例会後、浦和Yスタッフ（全員女性）と笑顔でポーズ。2月例会は「ジェンダーと妊娠・出産」で助産師の豊富な体験談のあと「楽しいひな祭り」を一緒に歌う。左はもうじき見られなくなる埼玉YMCAの看板。（浅羽 記）



3月「さらば浦和Y」例会

日時：3月16日(土) 14時～16時
会場：浦和YMCA 北浦和駅西口 歩4分
プログラム：浦和YMCA 思い出会に合流する

3月 夜談会

日時：3月11日(月) 午後6時～8時
会場：サイゼリア（浦和駅東口）
・気楽に知り合い見識を深める拓けた大人の会

今月の聖句

「求めなさい。そうすれば与えられます。探しなさい。そうすれば見出します。たたきなさい。そうすれば開かれます。だれでも、求める者は受け、探す者は見出し、たたく者には開かれます。」

(マタイの福音書7章7節—8節)

特集：その2

浦和 YMCA と埼玉ワイズメンズクラブの思い出写真（その2）2024年3月末をもって、その長い歴史を閉じることになった浦和センター。多くの子ども達、ユースやシニアの方がここに集い、活動に参加し、それを支えてきた浦和センター。2020年に新型コロナウイルス感染症が猛威を振るい、歌声集会や早天祈祷会などいくつかの活動は休止またはオンライン化せざるを得なくなりました。ちょっと寂しい気持ちもありますが、所沢センターの拡充等の選択と集中によって、これからも地域に奉仕する魅力ある埼玉 YMCA として続けていきます。懐かしい顔がいくつも写っているのを見て当時の活動や交わりを思い起こしてみてください。（写真提供と説明 衣笠メン）



2012年、浦和フェスティバルにて。



2014年。「心のふるさと歌声集会」クリスマス祝会。



2014年埼玉 YMCA チャリティー・コンサート企画会議 埼玉 YMCA 理事・評議員

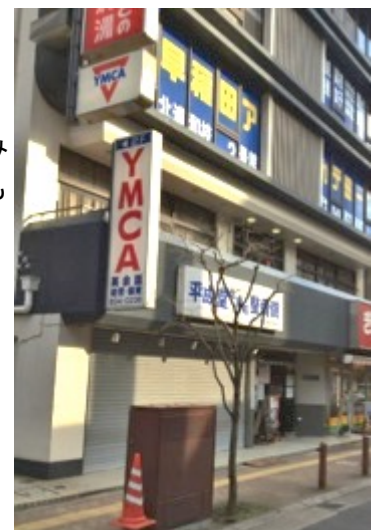


2014年わいわいパソコン教室（埼玉ワイズメンズクラブ主催）



2014年「心のふるさと歌声集会」後の記念写真埼玉ワイズクリスマス祝会

古くからの会員には馴染み深い旧看板。遠くからでも目立った。（HPより）





2015年 埼玉 YMCA 早天祈祷会。毎月1日の日、午前7時に集まっていたが、コロナ禍でオンライン化。2024年3月1日は256回目になる。



2015年 早天祈祷会の後は美味しいコーヒーとパンで懇親会。



2018年 ユースボランティアリーダーズフォーラム会議 野外活動に参加する新人ユースリーダーが東日本各地のYMCAから参集。3日間キャンプ生活を共にし、YMCAの醍醐味を知る。



活動メモ

◆ 2月夜談会

12日夜、浦和サイゼリアで開催。この夜も様々な話題が飛び交い、能登半島地震の話と、ボランティアや義援金についての意見交換した。帰途、記録写真の撮り忘れに気づき、市民活動サポートセンターでセンター職員（堀和メンの知合い）に雛人形の前で撮ってもらう。



出席：大輪、麻生、中澤、上松、堀和、浅羽

◆ 2月「浦和Yありがとう」定例会



17日に浦和YMCAで定例会を開催。今回は「ジェンダーと妊娠・出産」。小松とし子氏（めぐみ助産院・院長）をアドバイザーに中高年男女13名が熱心に意見交換し、「イエ」制度や少子化問題を多角的に論じ合った。女性の閉経年齢の低年齢化が少子化に影響していることを知った。今月の歌は「楽しいひな祭り」。閉会後もメンは残って「浦和YMCA思い出会」を打ち合わせ。ゲスト（敬称略・苗字）：小松、新井、武田、城内、濱本、竹内、メン：伊藤、上松、衣笠、小谷、堀和、水無瀬（ズーム）、浅羽

◆ 川越・所沢合同例会に参加



2月24日川越ウエスタにて川越・所沢の2クラブ合同例会が開催された。卓話者は株式会社アストロスケールの社長加藤英毅氏。宇宙に急増し続けている人工衛星やロケットのデブリの回収やロケットの燃料補給などを今後手掛けていく若い会社だ。ちょうど18日にニュージーランドからのロケット打ち上げに成功したとのニュースがあっただけにタイムリーな卓話。社長は素人にも分かりやすくスライドと動画で宇宙での作業工程、国際事情、行政の課題などを熱く語った。この講演が実現したのは川越クラブの吉野メンと加藤氏が旧知の間柄だったから。また同行した五十嵐美乃里広報官は何と同クラブの利根川恵子メンの姪という奇遇。後半ではピンクシャツデーをアピール。埼玉クラブは衣笠、小谷、浅羽と夜談会常連の大輪氏が参加。(浅羽 記)

YMCAの小窓から

埼玉ワイズは浦和YMCAを応援しています。

2月25日(日)に所沢YMCA子育て子育てセンターにて、浦和・川越のクローバークラブの親子を対象に月1回開催している“おやこの会”というプログラムを行いました。保護者には、それぞれの悩みなどをざっくばらんに話す場として利用していただき、その間に子どもたちはプールや体操のプログラムを行います。今回はプールを使って水遊びを行いました。「YMCAで毎月プールに入るようになって少しずつ泳げるようになったから来るのが楽しみ」と語る子どももいました。「水しぶきが顔にかかるのがいや!」と水に抵抗のある子どももいましたが、リーダーや毎回活動を手伝ってくださる所沢クラブの大澤さんがサポートし、遊んでいるうちにすっかり水慣れして楽しんでいました。保護者の皆さんも他のご家庭の話を聞いてホッとしたり、参考にしたりと有意義な時間を過ごしていました。(埼玉YMCA職員 長谷川洋輔 記)



仲間からのお便り



◆ 今月の俳句 塀和光二郎メン (俳号 愚道)

① 積る雪迷わずねぐら迷い猫

降り始めから積もる予想がつき迷い猫君はどこにも行かずねぐらに潜り込みました。皆様はいかがでしたか。

② 見つけた見沼田んぼの梅一輪

季語では探梅というそうですが、私はたまたま行った見沼で梅を見つけました。

③ 能登の地も何か始める2月かな

被災しどうしようもない状態で何か始めなくてはと一歩を踏み出す頃でしょう。

今後の予定

- ・「浦和YMCA思い出会」(日時)3月16日14:00～16:00 (会場)浦和センター (会費)500円

統計	出席	会員	ゲスト/ビジター
月例会 (2/17)	13	7	6
夜談会 (1/15)	6	3	3

ワイズメンズクラブとは

ワイズメンズクラブ国際協会(Y's Men International)は国際青少年団体YMCAを支援する社会人の奉仕運動。若者の自立と生き生きとした地域作りを目指す国際団体です。政治信条・性別・肩書きや年齢差に関係なく国内外の交流も進めています。埼玉クラブは1976年創立。浦和を拠点に活動しています。詳細は埼玉クラブ 浅羽まで。(090-7426-5553)